

6月18日(月)

有 罪 が 恩 赦 に

聖書朗読 詩篇 51:7～17

わたしは彼らの咎を赦し、彼らの罪を二度と思い出さないからだ。

エレミヤ 31:34

今日の力

2012年6月18日～6月24日

翻訳 鈴木めぐみ

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

有罪。最終的な判決が確定しました。『すべての人は、罪を犯したので』（ローマ 3:23a）死刑が宣告されました。しかし待ってください！ 古い律法での罪と死は、すでになくなりました。ここに新しい律法があります。命に関する新しい律法を遣したお方が、条件を受け入れた人を皆、恩赦にしてくださるのです。

「しかし私たちが、条件を受け入れた後に罪を犯したらどうなりますか」。あなたもきっとそうでしょう（1ヨハネ 1章）。しかし自分の罪を悔い改めて、それを告白するクリスチャンは、光の中を歩む時に神様がそれを赦してくださるという約束のみことばを信じることができます。

私たちが光の中を歩む時、神様と共に交わりをもつことになり、キリストの血が絶えず私たちの全ての罪を洗い流してくださいます。「光の中を歩む」とはどういうことでしょうか。それは単純に、自分の習慣、考え、願いを、神様が喜んでくださる方向に向けることだと思います。「罪のシミ一つなく、完璧でありなさい」という意味ではありません。それは不可能です。この意味は、常に信仰深く、救いにあずかる準備を整えておきましょう、ということです。そうすれば私たちも次のように言えるからです。主イエスよ、『来てください。』（黙示録 22:17）

『こういうわけで、今は、キリスト・イエスにある者が罪に定められることは決してありません。』（ローマ 8:1）

讃美歌 529

祈り 聖なるお父様。私たちの心からの賛美の捧げものと、御子を贈ってくださったことに対する感謝の気持ちを受け取ってください。私たちが人に対してキリストのような思いやりの心を持てるように、そしてあなた様のみこころを実行に移せる強さを与えてください。

イエス様の尊い御名によって祈ります。アーメン。

ハロルド・シモンズ

テネシー州 ナッシュヴィル

御茶の水キリストの教会

6月19日(火)

言 葉

聖書朗読 詩篇 52:1~7

しかし今は、あなたがたも、すべてこれらのこと、すなわち、怒り、憤り、悪意、そしり、あなたがたの口から出る恥ずべきことばを、捨ててしまいなさい。互いに偽りを言うてはいけません。あなたがたは、古い人をその行いといっしょに脱ぎ捨てて、新しい人を着たのです。コロサイ 3:8~10a

私たちの語る言葉は、時に私たちの性格やありのままの心の状態をさらけ出すものです。イエス様はこう言われました。『まむしのすえたち。おまえたち悪い者に、どうして良いことが言えましょう。心に満ちていることを口が話すのです。』（マタイ 12:34）

言葉は、聞き手に対して信じられない程の害を与える可能性があり、人の人生や評価をめちゃくちゃにするほどの力を持っています。主が憎まれた6つのものの中に、『偽りの舌』を持つ者、『まやかしを吹聴する偽りの証人』があります。（箴言 6:16~19）

一方、言葉は人を癒し、生きる力を与える希望と励ましの源にもなります。パウロは次のように記しました。『信仰は聞くことから始まり、聞くことは、キリストについてののみことばによるのです。』（ローマ 10:17）福音をどれだけ信じているかは、神様のために働いている時、その人が語る言葉でわかります。言葉は必要不可欠なものです。そして私たちは神様の子どもとして、命を与えることに力を尽くされた父なる神様のようにになりたいと思います。

言葉の力は舌にあり、違いは心の中にあります。人生で出会う人々に対して、私たちの言葉は祝福となるでしょうか、それとも呪いとなるでしょうか。

神は我々に舌を与えられた。友に何か喜ばしいことを言えるように

——ハインリッヒ・ハイネ

讃美歌 453

祈 り 聖なる父なる神様。私の発する言葉を聞き、唇にストッパーを付けてください。そうすれば私は「偽りの父」でなく、あなたに仕えることができますから。

イエス様の御名によって祈ります。アーメン。
キャロル・ローズ

コロラド州 プエブロ

6月20日(水)

恐れが信仰を失わせる

聖書朗読 詩篇 54:1~7

神が私たちに与えてくださったものは、おくびょうの霊ではなく、力と愛と慎みとの霊です。テモテ 1:7

信仰を証する際に最大の妨げとなるものとは「恐れ」ではないでしょうか。人が自分をどう思うかという恐れ、否定されることへの恐れ、敵をつくることへの恐れ、恐れのリストはまだまだ続きます。

恐れは敵から来ます。敵は私たちがイエス様のことを人に伝える際の行動を躊躇させたり、落胆させたり、忠告してやめさせるために恐れを利用します。

今日の聖書朗読の箇所は、恐れを克服させてくれます。全ては神様の支配の下にあるのですから、私たちは神様の栄光への賞賛と、召しへの希望、天の御国の豊かさ、そして御力の圧倒的なすばらしさを喜べばいいのです。そしてこの力によって、私たちは恐れを失くすことができます。

信仰が心に入ってくると、恐れは代わりに出て行かなければなりません。驚くほどの光が入ってくるからです。神様のもたらす平和と希望は、この戦いに勝利する強さを与えてくださいます。人生の嵐にあっても安定を保てるように、わが敵（いわお）であるイエス様を礎（いかり）にします。イエス様はすべての争いごとや戦いに対して、勝利をもたらすように導いてくださいます。

愛は私たちの感情に対してではなく行動するときに発揮されます。今日という日にあなたの信仰を強め、恐れを止められる人になりましょう。

新たな月日を 主のみ手に委ね

はるかな行く手を めざしつつ歩もう。

—讃美歌 21 367 偉大なみ神の（作詞：フィリップ・ドッドリッジ）

讃美歌 21 367

祈 り 全知全能の愛する神様。私たちは今日大胆に立ち上がり、あなた様の驚くべきみわざを明らかにします。私たちが成熟した信仰の持ち主となり、恐れを止めることができますように。

イエス様の美しき御名によって。アーメン。

ジョアン・クレイトン

ニューメキシコ州 ポーティルズ

6月21日(木)

嵐が過ぎ去るまで

聖書朗読 詩篇 57:1~4

ああ、エルサレム、エルサレム。預言者たちを殺し、自分に遣わされた人たちを石で打つ者、わたしは、めんどりがひなを翼の下に集めるように、あなたの子らを幾たび集めようとしたことか。それなのに、あなたがたはそれを好まなかった。

マタイ 23:37

ダビデは自分の命を守るためにサウルから逃がれ、ある洞窟に隠れていました。洞窟の中でダビデは神様にこう叫びました。『神よ。私をあわれんでください。私をあわれんでください。私のたましいはあなたに身を避けていますから。まことに、滅びが過ぎ去るまで、私は御翼の陰に身を避けます。』（詩篇 57:1）ダビデは大きな苦悩の中にいて、自分の危機を生々しい言葉で表現しています。同時に彼は神様が守って下さることを確信していて、詩の繰り返しの部分に次の言葉を2度も入れています。『神よ。あなたが、天であがめられ、あなたの栄光が、全世界であがめられますように。』（詩篇 57:5,11）

私たちはよく、自分が人生の嵐の中にいるとすることがあります。時にそれらは本当の嵐であり、2011年の春に起こった大きな竜巻と洪水のようであるかもしれません。あるいは何か人を衰弱させたり、中毒させたりするような病気かもしれません。サタンが誰かの心や精神を破壊しようとする嵐かもしれません（1ペテロ 5:7）。ダビデのように、私たちは神様からの情けと癒しを、御翼の影で嵐がやむまで願い求める必要があります。

讃美歌 第二編 30

祈り 愛する神様。あなた様の慰めと恵みがいつも私たちの中にあって、困難な時ばかりでなく、日常生活の中でも私たちを元気づけてくださることを感謝し、ほめたたえます。

イエス様の御名によって。アーメン。

デール・フォスター
テキサス州 サイプレス

6月22日(金)

もうけ話

聖書朗読 詩篇 57:5~11

私は再び、日の下を見たが、競走は足の早い人のもではなく、戦いは勇士のものではなく、またパンは知恵ある人のもではなく、また富は悟りのある人のもではなく、愛顧は知識のある人のもではないことがわかった。すべての人が時と機会に出会うからだ。伝道者の書 9:11

楽をしてお金をもうける夢は非常に魅力的です。私にはある親しい友人夫婦がいますが、ご主人は飛行機のメカニック、奥さんは看護師として定年まで勤め上げ、子どもを自立させた後、フォートワース近郊に3エーカーの土地を所有して暮らしていました。ご主人は化学物質にさらされて病気が味でしたが、テキサス湖に自分のボートを運んで釣りをするくらいには元気でした。けれどもここ数年間、彼らは頻繁に近くのカジノヘギャンブルをしに行っていました。時々結果を聞くのですが、いつも答えは決まっていました。「だいたいプラスマイナスゼロかしらね」。私は実際、そうでないことに気づいていました。

ある時突然、彼らから手紙が届きました。ルイジアナからでした。彼らは土地を売却して引っ越したのです。二人ともなんとカジノで働いていました。住所からアパート住まいであることがわかりました。

私たちは常に何か具体的な計画を持っていることは不可能ですが、人生の目的を持つことはできます。この地上の生活にあっても、御霊に満たされた行動に人生を捧げれば、必ず報酬があります。

讃美歌 519

祈り 主よ。いつもあなたが必要です。どうか聖霊様が、私たちを最善の道に導いてくださいますように。いつもあなたに仕えることができるよう、家族を守ってください。一時でも離れないでください。いつも私たちのそばにいて、天の御国で私たちを救ってください。

イエス・キリストの御名によって。アーメン。

ジョージ・F・ドーハティー
テキサス州 タイラー

6月23日(土)

御手が抱えてくださる

聖書朗読 詩篇 63編

私はいつも、私の前に主を置いた。主が私の右におられるので、私はゆるぐことがない。
詩篇 16:8

庭に種を蒔く時、あなたは手袋をしますか。それとも種がちょうど良い位置に埋まるように、素手で土の感触をじかに感じますか。どちらにしても、数週間後にはある程度成長して、あなたの労苦が報われることになるでしょう。

手は身体の中で最も忙しく動く部位といっても良いでしょう。会話の際にも手振りをつけて、言いたいことを表現することがよくあります。またこの手は、小さな赤ちゃんを抱くこともしますし、両手を巧みに動かして食事を作ります。本を読むにも手で持ちます。日常生活の中で、手を使わないことはほとんどないかもしれません。

ソロモンは伝道者の書9章10節で『あなたの手もとにあるなすべきことはみな、自分の力でしなさい。』と記しています。イエス様は道半ばで何かをおやめになることは決してありませんでした。そしてその御手を、奇蹟を行うためにお使いになりました。病人を癒すため、嵐を静めるため、そのほか地上の生涯のたくさんの方のために。

イエス様の御手は、私たちが信仰から外れてしまった時でさえも私たちを抱えてくださいます。天にあって神様の右手に座っていらっしゃるイエス様は、救いの約束が真実であることの確証です。そのイエス様は私たちを御国へ連れて行ってくださるために、再び地上に戻って来られます。

聖歌 101

祈り 愛する父なる神様。御子イエス様が私たちにしてくださったことはあまりに大きく、その愛ははかり知れません。私たちが御子に従うことを願ひ、永遠に天国であなた様と共にいることができますように。

イエス様の御名によって。アーメン。

レイチェル・リップニコット
カリフォルニア州 テュレール

6月24日(日)

愛されている者として

聖書朗読 ルカ 7:36～50

私たちの主イエス・キリストの父なる神がほめたたえられますように。
エペソ 1:3a

私たちは皆、神様から祝福をいただけることを願っています。一人ひとりが日々、父なる神様の御手から贈り物をいただいているという証拠をたくさん示してほしいと思っています。しかしそう思う一方で、自分の不完全な生活によって神様の愛の注ぎを経験できていないのではないかと不安になります。キリストを通して、神様の尊い恵みにあずかりましょう。

感謝します あなたの愛を
あなたは私の人生の一瞬一瞬に 恵みをくださるお方です
感謝します 御父がそばにいてくださることを
疑いや恐れを持っても あなたは忍耐してくださいます
感謝します 日々起き上がれることを
道に迷う時でも あなたは愛を示してください
感謝します 人生の海をあてもなく漂流している時にも
あなたは平和と赦しを与えてくださいます
こんなにも甘く こんなにも真実で
こんなにも清い完全な愛は 他にありません
あなたは生きる意味を与えてくださいました
私は不完全な人間ですが
あなたの愛に人生の全てを捧げることを告白します

私たち一人ひとりが、神様から深く愛されていることを覚えて生活することができますように。

聖歌 111

祈り 最愛の主よ。私たちはあなた様、父なる神様からいただいている祝福について深く考えるたびに感謝を覚えます。ありがとうございます。
イエス様の尊い御名によって。アーメン。

キャシー・メレディス
テキサス州 フォートワース